


扶桑菅廟最初  
“心のふるさと”  
その歴史と伝統を今ここに



# 御神忌

令和9年  
防府天満宮  
1125年  
式年大祭  
趣意書

  
防府天満宮

社務所・御神忌 1125年式年大祭奉賛会事務局  
〒747-0029 山口県防府市松崎町14-1  
TEL 0835-23-7700 FAX 0835-23-7703



Instagram



Facebook



Twitter



公式HP

# 防府天満宮 御神忌 1125年式年大祭

## 趣意

## 奉賛会

防府天満宮は延喜4年(904)に創建された我国で最初の天満宮で日本三天神と称されております。創建以来、時の推移と変革にもかかわらず氏子崇敬者の信仰は厚く、特に俊乗坊重源、大内・毛利氏代々藩主をはじめ時の有力者の庇護のもとに社殿造営宝物寄進等の奉賛の誠も数々捧げられました。そして年中の祭祀は歳を重ねるごとに益々隆盛となり、天神信仰の大きな広がりを背景に現在では参拝者も年間150万人以上を数え、防府の天神様は防府の歴史とともに隆昌の一途を辿ってまいりました。

さて令和9年は御祭神「菅原道真公」が延喜3年薨去せられてより1125年という大きな節目の年に当たり、かかる年の春には御神忌1125年式年大祭を齎行致します。天満宮では道真公に縁深い25という数に因み25年毎に式年大祭を執り行っております。これは氏子崇敬者の方々の大きな敬神の念により、天神様の御神慮をお慰めすると共に御神威の若返りを願い、氏子をはじめ四季折々参拝される崇敬者の方々により大きな御神徳が戴かれることを懇願するものであります。

防府天満宮では、この時にあたり次の25年50年そして100年に視点を据えた上で、意義のある式年大祭記念事業を展開し、後世に向けて益々の天神信仰の発揚を念じ、創建以来の伝統と文化を伝えていくことが今に生きる私達の使命と考えております。

以上の趣意に基づき、氏子はもとより広く防府天満宮を崇敬くださる方々の敬神の念により記念事業が見事に成就され、この大祭がかくも盛大に執り行われることを願い、この度公益財団法人毛利報公会会長毛利元敦様を総裁に戴き、令和5年4月御神忌1125年式年大祭奉賛会が設立されました。

経済の混迷する世情ではありますが、少しでも多くの奉賛の誠が捧げられ、この大祭が盛大理に行われ防府のまちの活力となることを菅公様も願っておられることであらう。

## 大祭予算 2億2千万円

募財目標	氏子募財	5千万円
	一般募財	1億2千万円
	天満宮	5千万円

### 防府天満宮御神忌 1125年式年大祭奉賛会

会長 羽嶋 秀一

役員 一同

防府天満宮 宮司 鈴木 宏明



# 御神忌1125年式年大祭奉賛会役員

総 裁

毛利元敦

顧 問

福田百合子 防府天満宮崇敬会会長  
岡 正朗 山口県立大学理事長  
高樹のふ子 作家  
馬場良治 日本画家  
山中祥弘 メイウシヤマ学園理事長  
ジェニー牛山 ハリウッド美容専門学校校長  
喜多村誠 防府商工会議所顧問・  
防府通運(株)代表取締役社長・責任役員  
田中康男 (株)丸久代表取締役社長・責任役員

会 長

羽嶋秀一 防府商工会議所会頭・責任役員

副 会 長

宇野好一 責任役員  
板村 至 責任役員  
中谷 泰 防府観光コンベンション協会会長・副会頭

監 事

嶋本 博 責任役員  
中村元彦 副会頭  
古閑謙士 副会頭

常任理事

脇 正典 責任役員  
小松宗介 責任役員  
杉本一彦 責任役員  
中村 顕 責任役員  
白石民彦 責任役員  
藤本晃二 副会頭  
澤田健規 裸坊奉仕会会長  
藤本利範 宮大工棟梁

理 事

村田敏夫 責任役員  
山田拓男 責任役員  
中林堅造 責任役員  
山根耕太郎 責任役員  
大浜悟史 責任役員  
野村芳子 責任役員  
岸 正人 責任役員

以上

# 御神忌1125年式年大祭事業

## 一 造 営 事 業

### 参集殿改修 令和4年11月完遂

この改修ではエレベーター新設、トイレ等改修、結婚式控え室として対応できる機能を持たせることを中心に計画します。

### 社殿(楼門・回廊)の塗替え

朱の楼門は防府天満宮の象徴ともいえる建物で、すでに鎌倉時代の「松崎天神縁起絵巻」の中にも描かれています。

### 大石段の改修

大石段の安全対策と57段の顕彰。57段は道真公が防府に来られた時の年齢に合わせたとの説もあり、57段を道真公の人生に見立てその歳毎の活躍を顕彰します。

### 表参道の整備事業並びにバス駐車場の移動

長年バス駐車場として利用してきた広場ですが、安全面を考え  
駐車場機能を移動(前小路会館横広場)し、  
従来の広場には御由緒板などを設置して  
参拝者に安全でより快適な空間、  
憩いの広場にします。



イメージ



# 御神忌1125年式年大祭事業

## 二 教化教学事業

### ❁ 勝間の浦(お旅所)の整備並びに一本松神社の復興「一万人裸坊奉仕を目指して」

御神幸祭は防府天満宮創建の根幹をなす神事です。その御神幸祭の聖地とも言える道真公が御着船になられた勝間の浦は天満宮にとって非常に重要な土地です。勝間の浦を整備することにより御神幸祭の意義をより広く周知頂けるものと考えています。その結果1150年大祭には10万人の裸坊が乱舞する御神幸祭を夢んでいます。

### ❁ 記念誌並びに「新・防府天満宮考録」の編纂

新たな知見と考察を加えた「新・防府天満宮考録」を編纂します。

### ❁ 松崎天神縁起絵巻「国宝への道」プロジェクト

防府天満宮の創建を示す「松崎天神縁起絵巻」国の重要文化財が国宝になることを夢みて、絵巻(第6巻)の内容が鎌倉時代の天満宮の繁栄の姿と道真公がご覧になった防府の地形が描かれていることを実証していくプロジェクトです。

### ❁ (過去の)「手鑑」の保存修理

過去八百年大祭、九百年大祭、千年大祭、直近では御神忌千百年式年大祭で奉納されました。中でも九百年大祭のものと千年大祭のものは傷みもひどく、いち早い修理が必要と専門家の指摘を受けています。

### ❁ 「松崎天神縁起絵巻」室町本の修理保存

室町本の修理を足掛かりに「国宝への道」への歩みを進めたいと考えています。

## 三 文化事業

## 四 奉賛事業

### ❁ 賽銭箱の改修

賽銭箱の機能を失うことなく正面からの入場を可能にする改修をします。

### ❁ 崇敬会の拡充(東京支部設立)令和4年10月15日設立

防府天満宮崇敬会は御神忌千百年式年大祭を記念し設立されました。この度1125年大祭を迎えるにあたり強化したいと考えています。(故)メイ牛山女史とご縁でメイウシヤマ学園が事務局をお引き受けいただけることとなりました。

### ❁ 車の祓所並びに末社周辺の整備と寄付者芳名碑(鳥居含む)建立

車の祓所と末社の間に鳥居を設け、末社への導きに神々しさを加え参拝を促します。また長年の懸案であった車の祓所の整備を行います。



イメージ

